

大鹿村 議会だより

第58号
令和8年7月号

令和8年7月15日発行



向山牧場開牧

6月定例会

- 目次… P.2 専決処分、条例改正、補正予算、農業委員
P.3 委員会審議ほか
P.4 一般質問 屋外分煙施設整備について(秋山光夫議員)
P.5 一般質問 スクールバスの運行基準の見直し(伊波ゆかり議員)
P.6 一般質問 日帰り温泉入浴実現に向けての支援(加藤哲夫議員)
P.7 一般質問 農業用排水施設改修事業について(松澤武裕議員)
P.8 一般質問 複式学級、学校統合について(齋藤栄子議員)
P.9 砂防懇談会・治山懇談会・PTAとの懇談会
P.10 議会活動・みんなの広場

6月定例会

令和8年6月大鹿村議会定例会が6月5日から6月15日までの11日間の会期で開会されました。今定例会に提案された議案等は、報告1件、付議事件16件で、すべて原案どおり承認・同意・可決されました。

報告

報告第1号 令和7年度大鹿村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

付議事件

▶ 議案第1号～第6号は専決処分の承認を求めるものです。

議案第1号 大鹿村税条例の一部改正

▶ 地方税法の改正に伴う改正です。

議案第2号 令和7年度大鹿村一般会計補正予算(第8号)

議案第3号 令和7年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

議案第4号 令和7年度大鹿村立診療所特別会計補正予算(第5号)

議案第5号 令和7年度大鹿村介護保険特別会計補正予算(第4号)

議案第6号 令和7年度大鹿村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

▶ 事業費の確定に伴う補正予算です。

議案第7号 大鹿村国民健康保険税条例の一部改正

▶ 令和9年までに飯伊地域各町村の平均の値になるように引き上げる税率・税額の改正です。1人当たり年7100円(6.7%)増となります。

議案第8号 大鹿村単独住宅管理条例の一部改正

▶ 引き続き15日以上使用しないときは届出をしなければならない等、村営住宅

管理条例にある3つの条項を付け加える改正です。

議案第9号 大鹿村消防団員等公務災害補償条例の一部改正

▶ 国の基準政令の改正に伴い、葬祭補償の定額部分を引き上げる改正です。

議案第10号 大鹿村福祉医療費支給に関する条例の一部改正

▶ 県の福祉医療費給付事業の改正に合わせて、精神障がい者の入院医療費助成を新たに補助対象に追加するもの等です。

議案第11号 令和8年度大鹿村一般会計補正予算(第1号)

▶ セキュリティー強靱化機器更改(パソコンの更新等) 4840万円、中川村との間で新たにできた地域生活圏協議会負担金184万円、クマ檻2台38万円、歌舞伎保存補助金(衣装、かつら) 190万円、人事異動に伴う人件費の補正など、総額8698万円の増額補正です。



議案第12号 令和8年度大鹿村立診療所特別会計補正予算(第1号)

議案第13号 令和8年度大鹿介護保険特別会計補正予算(第1号)

議案第14号 令和8年度大鹿村簡易水道事業会計補正予算(第1号)

議案第15号 財産の処分について

▶ リニア小渋川橋梁建設のため、小渋川左岸側の村有地1万5735㎡をJ R東海に売却するものです。

議案第16号 大鹿村農業委員会委員の任命につき同意を求める

▶ 森下敏彦さん、兼岡良和さん、大橋果林さん、清水健治さん、松澤徳幸さん、坂井直樹さん、河本和朗さんが同意されました。

総務社教常任委員会

教育委員会

Q歌舞伎のかつらと衣装の金額の内訳は？

Aかつらが2点で110万円(人毛のため高額)、キラが80万円です。

住民税務課

Q定住環境プランナーの仕事内容は？

A現在は、移住希望の方が来られていないので、管理係で特定空き家になりうる空き家の相続人を調べてもらっています。弁護士に相談して、今後の特定空き家の対応を考えているところです。

Qすでに移住している方に不安がある場合は、対応してもらえないのか？

A仕事としては、移住希望の方が来られた場合の対応という事で考えています。

Q今年度住民税務課の管轄になった理由は何？

A以前は総務課(移住定住)と住民税務課(空き家バンク)で分かりにくかったのが、一本化したということです。

Q専決処分で入湯税の金額が増額補正されていたが、過去のことはどうなるのか？

A現在、弁護士と相談中であるため、今後決定したら報告します。

保健福祉課

Q人件費が減っているが、どういう理由か？

Aもともと一般職を希望していた保育所職員が、教育委員会に異動になったためです。

Q支援ハウスの稼働率は？

A下の階は階段を使用するので、利用される方が少なく、全体では7割くらいの利用率です。

総務課

Qセキュリティ強化のPC更新、三層分離について、詳しい説明を。

A今まで庁内のネットワークは、行政専用のLG系、インターネット系、個人情報扱う基幹系と3層に分離されて別々だったものを、インターネット系とLG系をセキュリティを担保したまま、1台にまとめていくというものです。サーバーを分けて使用できるようにします。

産業建設常任委員会

産業建設課

Qクマ檻を追加購入とのことだが、現在いくつあるのか？

Aドラム缶の物が3台あるが、故障しています。修繕を依頼していますが、業者が忙しく時間がかかります。

リニア展望台の視察

6月22日に上郷に開設されたりニア展望台を視察してきました。長野県駅工事の現場の状況から、一直線に伸びる高架橋、豊丘村の変電所予定地、大西山へ続く送電鉄塔などが一望できます。



屋外分煙施設整備について

秋山光夫 議員



質問 多数の利用者が訪れる施設では原則屋内禁煙が徹底されていますが、屋外では路上喫煙や吸殻のポイ捨て等が問題になっています。単に喫煙を禁止し締め出すだけでは隠れ喫煙やポイ捨てを助長するだけで、抜本的な解決になりません。屋外空間における適切な分煙環境の整備、すなわち「空間のすみ分け」が必要です。

自治体の分煙施設整備への総務省の財政支援は手厚く、環境美化を推進しながら、同時に地方たばこ税の安定確保が図られる二重のメリットを享受できる戦略的な枠組みとして推奨されています。たばこ税という財源をそのままたばこに由来する環境課題の解決に充当するという明確な循環サイクルは、納税者である喫煙者にとっても、環境改善を望む非喫煙者にとっても納得感の高い運営モデルと総務省は提言していますが、村長はどのようにお考えですか。

村長 一般論として喫煙自体は自由ですが、健康増進法等の観点から、嫌煙権が喫煙権よりも優先されることが社会通念となっています。役場庁舎や教育医療施設等は第1種施設に分類され、敷地内全てが原則禁煙です。分煙施設を設ける際は、施設の裏や屋上など一般利用者の目につかない、立ち入らない場所に設置しなければならないとされています。

現在、役場裏には簡易な分煙施設を設けています。交流センターや鹿塩地区館は学童の皆さんが利用していますので、分煙施設の設

置は考えておりません。総務省の支援制度等も承知はしていますが、吸殻のポイ捨てや隠れ喫煙は基本的には喫煙者のマナーの問題であって、行政のサービスとして特に考える必要はないと思っております。分煙施設はTPOに応じて設置を考えていくべきものであり、現状では今の考え方に基づいて設置しています。

質問 近隣自治体を調べると、敷地内全面禁煙とうたっていても、部分的・例外的に喫煙場を設けていますが、大鹿村は非常に消極的です。交流センター等でも灰皿が撤去され、裏手の倉庫の間が隠れ喫煙所となって、子どもの受動喫煙を心配する意見があります。マナーだけを優先するのではなく、適切な分煙施設の整備へ改善できませんか。

村長 役場に設置してある分煙施設は老朽化も進んでおり、今後利用者の状況を見ながら更新の検討をしていく時期が来ると思っています。一方、大西公園や歌舞伎の神社境内等は常時人がいない場所になります。そういう所に煙が漏れないようなしっかりした施設を設置しますと、不審者が居ついたり、安全管理上の問題が生じてくるのが想定されますので、イベント開催等に合わせて仮設のもので対応していきたいと考えています。

ただ、ご意見をいただきましたので、もう少ししっかりした対応ができないか検討はさせていただきたいと思っております。

スクールバスの運行基準の見直しについて

伊波ゆかり 議員



質問 現在、大鹿村のスクールバスは、国の定める通学距離基準に沿って運行されていますが、これはへき地児童生徒援助費等補助金の交付要件の一つです。村には独自の運行基準を設ける裁量があるとの認識をお持ちですか。

村長 承知しております。行政サービスの範囲を決める場合の基準値として、この数値に基づき決定をしております。

質問 文部科学省では、徒歩通学の目安をおおむね30分～1時間以内という時間基準で示しています。距離だけでなく、通学時間、地形、学年、クマの出没状況、工事車両の運行実態を総合的に考慮した安全基準へ見直す意向はありますか。

村長 通学環境の違いによって平等な制度、運行基準の設定というものをすることは現状では非常に難しいと考えています。ただし、ご指摘いただいたような社会的環境の変化に応じて、条件の許す範囲の中で運行基準を新たに見直すという必要性は認識をしております。



質問 昨年の文部科学省の資料によると、スクールバスの利用対象を、国が定める適正配置基準よりも短い通学距離まで拡大している学校は、小学校で約7割、中学校で約6割に上るとされています。

また、ホームページによると、大鹿村通学路交通安全プログラムがあるようですが、具体的にはどのように行っていますか。例えば、クマの出没が確認された際のマニュアルや連絡体制等は整備されていますか。

教育長 危機管理マニュアルを、小中学校それぞれ作っております。クマ出没による対応は、場所の確認、現状把握により危険があると判断した場合、状況に応じて児童は学校に待機し、保護者にオクレンジャーで連絡し、迎えに来てもらい直接引き渡す。という流れになっています。

質問 スクールバスの運行を拡充する場合、車両台数と運転手の確保が課題となります。村費による外部委託も含めて具体的に検討したことはありますか。

村長 現状の運行基準で、車両や人員の確保はできていると考えております。今後通学バスの運行基準を拡大するという必要が認められた場合は検討していきたいと思っております。

質問 今回の質問では、子どもたちの安全確保に向けて、村が主体的に対応する考えを確認しました。今後、通学環境の変化に応じた前向きな検討が進むことを期待します。

日帰り入浴実現に向けての現状認識について 観光客の日帰り入浴機会を確保する ための公平な支援制度の 必要性について

加藤哲夫 議員



大鹿村観光事業における日帰り温泉 入浴実現に向けての現状認識について

質問 大鹿村を訪れる観光客の日帰り温泉のニーズは絶えません。

先のエネルギーインフラプロジェクトレポートによれば、日帰り温泉施設新設については、建設費用は8億円を超え、当初5年間は毎年1500万円の赤字を出すとのこと。一方、既存の温泉施設では、さまざまな難しい課題を抱えています。村長は、それぞれの旅館の日帰り温泉入浴の課題をどのように把握していますか。また、日帰り入浴実現のための支援を公共サービス確保の観点から、どの程度重視していますか。

村長 日帰り温泉営業は感染症対策などの衛生管理基準も非常に厳しく、施設整備に高額な投資が必要で、非常に収支予測の厳しい業種と認識をしております。

一昨年の分散型エネルギーインフラプロジェクトでは、日帰り温泉施設新設は単独では赤字経営でも、公共性を見だし総合的に見たときに村益に資するとしています。

村民に対する公共サービスの優先度という観点からは、医療、教育、福祉、インフラ整備などが優先され、温泉施設などは、観光振興上必要なものですが、優先度は高くないものと認識をしております。

観光客の日帰り入浴機会を確保するという公共サービスを実現する公平な支援制度の必要性について

質問 老朽化した設備や条例基準を満たすため設備の改修を支援する制度の創設が不可欠ですが、いかがですか。人手不足対策としての人件費の補助、あるいは村によるスタッフ派遣制度について検討の余地はありますか。

村長 日帰り入浴施設を運営する民間事業者を支援ということも手段の一つですが、村内の全ての事業者に対する支援との整合性を考えて、どの程度の支援であれば公平性を保てるか、住民の皆さんの理解を得られるかということを勘案しながら、研究を進める必要があると考えております。

また人件費の補助や人員の派遣制度については、日帰り入浴施設だけを対象とした支援制度が可能かどうかも含めて、研究はしていきたいと考えております。

質問 実現に向けて一歩ずつ進んでいくようにお願いします。今一度前向きな、夢として語った答弁をお願いします。

村長 一昨年、分散型エネルギーインフラプロジェクトで入浴施設を検討したということも、やはりこれは私の中にそういった夢があったからであります。やはり入浴施設は村内に欲しいなという気持ちは変わりません。どうしたら実現できるか研究をさせていただきます。

農業用排水施設改修事業について



松澤武裕 議員

質問 堂垣外井水修繕工事が当初予算で4354万円と高額な事業費が計画されています。この事業については地元負担金が必要となり、予算にも計上されています。この地区の地主の方に聞くと、事業の内容等何も知らずにいます。この事業は、どのような方から補助事業の申請がなされたのでしょうか。

村長 この事業を今年度執行予定の事業とした経緯としては、堂垣外の井水組合より当該施設の改修について村へ要望があり、また、農業委員会からもこれについて意見書をいただいております。それに従い事業化を進めたものです。多額の費用がかかることが想定されたことから、国の支援制度等を有効に活用し、財源を確保した上で事業を進める必要から、施設全体を更新した場合の事業費を算定し、その枠で予算化したものとなります。

質問 井水組合の方からの要望ということですが、井水の改修工事は、今までは地主の方からの要望で行われてきていると思います。

この地区の地主は高齢の方、また最近亡くなって相続相手のいない方、それから村外に移住している方が多く、耕作している地主の方は数人で、賃貸借契約で大規模に耕作されている方が3人ほど見受けられます。また、耕作している方から賃借料を支払ってもらっていない地主の方もいる状況ですが、負担金が必要となりますので、負担金について、後々問題が生じるのではないかと思います。

この事業を進めていく場合に、村としてはどのように事業を進めていく予定であるか、お考えをお聞かせいただきたいと思います。

村長 この事業執行にあたっては、井水組合

の皆さんと受益者負担の程度等協議しながら、どの程度改修を進めるかを決めながら進めていきたいと考えております。組合の事業に耕作者や土地所有者等、誰がどう関わるかについては、井水組合の運営に対する考え方になってきます。施設の更新から管理、費用の負担のあり方など、基本的には井水組合の皆さんが、今後の方針をしっかりと組合内で決めていただく必要があると考えます。

村ももちろん助言はいたしますが、ここはやはり主導的に井水組合がしっかりと自分たちの考え方を決める必要があると考えております。議員さんの中にも、そうした仕組み等に詳しい方もおられると思いますので、住民の代表ということで、その旨をしっかりとご指導いただければありがたいと思っております。

質問 地主の方の話の中では、壊れた箇所だけを今後修繕していく方向でなければ、相当高額な負担が発生するので、大変だということがあります。

担当になる方も、相当慎重な話し合いをした中で、最終的に問題が起きないようにことをまず第一に考えた中で、この事業を進めていただきたいと思います。

村長 ご指摘の通りだと思っております。その辺りの話がしっかりできないと、この事業は進められないと思っております。また井水組合のあり方を含め、農業の持続性にも関わる問題だと思いますので、耕作者の皆さん、地主の皆さんがそこをどう考えるかということを、しっかり調整をしていきたいと思っております。

人口減少に伴い増加する 複式学級、学校統合について

齋藤栄子 議員



質問 少子化により、学校教育が行われる環境や制度の見直しが急務となっている情勢を思うと、大鹿村でも子どもたちを幸せにしていけることのできる教育環境を考えていく必要があると思います。今後数年内に避けられないであろう複式学級について、現状と今後どのように進めていかれる方針かお聞きしたいと思います。

村長 学校のあり方を検討していく時期に来ていると考えています。教育委員会を中心に、保護者や地域の皆さんのご意見もお伺いしながら、今後何らかの形で検討を進めていきたいと考えております。

教育長 令和8年度現在の小学生は40名で、6学級で行っているわけですが、令和9年度以降は徐々に減少することが予想されます。来年は複式学級の対象の組み合わせができるということで、以降、複式学級が続くことが予想されます。中学校では、令和12年度は複式学級での対応が予想されます。

山間地、小規模校が多い飯田下伊那では、地理的な条件や児童生徒数の減少に対応して、工夫しながら学校の編成をしたり運営を行ったりしているということで、教育委員会でも昨年度、少し見させていただいたりしたこともあります。そういうことにも学びながら、今後の大鹿小学校、大鹿中学校のあり方について研究しています。今後はもう少しそれを具体的にしながら、いろいろな方との調整を

しながら進めていこうと思っています。

質問 保護者の方に複式学級に抵抗はあるのかお聞きしたところ、「抵抗はない、なぜなら複式学級がどのようなものか分からないので」との回答をいただきました。

保護者の方を含め、複式学級、学校統合についても、勉強会を持つことが必要ではないかと思っています。複式学級を検討していく上で、幅広い視野での知恵の検討ができますよう、教育委員会、行政でも力を入れていただきたいと思っています。

そして、引き続き山村留学にも力を入れていただきたいと思っています。

教育長 過去には複式学級について村費の任用等で複式学級を解消したという経緯もあるわけですが、今後その点も含めての検討にはなることをご承知ください。

いろいろな形で子どもたちの学びの保障ができるようにと検討を進めてきております。山村留学のあり方についても、ご意見をいただきながら進めることになります。

質問 大鹿村で保育園から中学校までほぼ一緒のメンバーで学んでおられますと、高校に行ってからなかなか友達ができないという声も何件かお聞きします。新しい人との交流が、人間関係をつくるのにも必要ではないかと思うのです。

教育長 山村留学についてのご意見、また心に留めたいと思います。

小中学校PTAとの懇談会

4月24日、大鹿小中学校PTA総会終了後に、短時間でしたが、PTAの皆さんとの懇談会を行いました。

齋藤議員の一般質問にある通り、小学校、中学校それぞれの参観日の折に、また議会でも全員協議会において教育委員会より、小中学校の今後の児童生徒数と学級編成の予測についてのお話があった直後でもあり、複式学級について話題となりました。今後のことについて、保護者と教育委員会、学校と、意見交換できる場を設けてほしいという声がありました。

また、前は加藤議員、今回は伊波議員の一般質問で取り上げたスクールバスについて、クマの心配等もあり、何とか見直してほしいとの声がありました。

また今後PTAの世帯数が減っていく中で、どういう活動が求められていくのか、保護者の負担が増えるのではないかと。

少人数で同じ顔ぶれが保育所から中学校まで続き人間関係が限られてしまうので、近隣の学校と一緒に授業するなど交流の機会をもっとつくりたい。

部活動の地域移行がどうなっているか。MTBクラブなど大鹿らしいクラブを作って、よそからも来るようになるとよい。

等々さまざまなご意見をいただきました。今回の一般質問への答弁内容も踏まえながら、特に複式学級や学校のあり方、スクールバスについて等、議会としても引き続き考えていきたいと思います。

今後は、これから学校に上がる未就学児の保護者の方含め、地域の皆さんと共に考えていく場を持てればと思っています。

砂防懇談会

6月17日に天竜川上流河川事務所より赤沼所長はじめ6名の方にお越しいただき、役場研修会議室において砂防懇談会が開催されました。今年度の砂防事業についてご説明いただいた後、質疑・要望等、意見交換を行いました。

今年度の事業として、鹿塩川溪流保全工護岸工事、北川第2砂防堰堤補強工事、釜沢中流地区護岸工事、北入床止工、小塩沢砂防堰堤等の説明をいただきました。鹿塩川について旧橋周辺の工事がいつから始まるのか、また、計画箇所として挙げられていた地獄谷沢砂防堰堤群について、史跡に留意してほしい等の質問・意見がありました。

治山懇談会

6月23日には伊那谷総合治山事業所より中嶋所長はじめ7名の方にお越しいただき、治山懇談会が開催されました。村内の施工箇所7件、調査箇所5件のほか、飯田市側の地蔵峠、蛇洞沢の復旧治山工事や調査の状況をお聞きました。



油山沢復旧治山工事・計画箇所全景(資料より)

4～6月の主な議会活動

- 4月5日 消防団新入団幹部任命式
- 4月7日 中部伊那議長・事務局長会議
- 4月11日 大鹿さくら祭り(28日片付け)
- 4月22日 活性化プロジェクト委員会(毎月)
- 4月24日 全員協議会
大鹿小中学校PTAとの懇談会
- 4月27日 大鹿歌舞伎保存会総会
下伊那北部正副議長会
- 5月3日 大鹿歌舞伎春の定期公演
- 5月7～29日 住民懇談会に参加
- 5月15日 社会福祉協議会理事会
商工会総会
- 5月20日 開山式
- 5月22日 全員協議会
下伊那北部事務組合臨時議会
- 5月25日 南信州広域連合臨時議会
下伊那郡議長会総会
- 5月26日 全国町村議会正副議長研修会
- 5月27日 下伊那北部正副議長会視察
TOJ大鹿ステージ
国保運営協議会
- 5月28日 大鹿夏祭り実行委員会
- 5月29日 南ア自然環境保全活用連携協議会
- 6月2日 社会福祉協議会評議員会
- 6月3日 公共交通会議
- 6月5日～ 定例議会(～15日)
- 6月11日 流域治水講演会
- 6月17日 砂防懇談会
- 6月23日 治山懇談会
- 6月26日 中部伊那正副議長会
- 6月29日 三六災害慰霊祭



文満：紺野香糸さん

大河原下青木地区で農家カフェBAUを営んで7年目になります。



実家で育てた牛肉や大鹿産の食材にこだわったメニューを提供しています。村内のイベントで出店したり自治会の行事や式典でのお弁当やオードブルをご注文いただき村民の方々にもご利用頂いていますこと感謝申し上げます。

カフェBAUは11年掛けてセルフビルドで建てました。建物が完成した際、地域の方から「自分の職場をゼロから作り上げたね。頑張りな！」と暖かく声をかけていただいたことが大きな励みになっており、その言葉を胸に試行錯誤を重ねながらなんとか営んでいます。目指せ開業11年です。

大鹿村の人口はますます減少傾向にあり同時に観光業に携わる方々も減っています。観光客目線で考えても村内観光の選択肢が少なくなっていると思うと、これからの大鹿村観光のあり方を心配します。観光業を後押ししてくれる政策を期待し可能な限り参加協力していきたいと思っています。

編集後記

6月定例議会の一般質問には6名もの村民の方が傍聴に来てくださいました。質問者が当事者に直接お声がけしてお誘いしたようです。傍聴された方はどう思われたでしょうか。また傍聴に行きたいと思うような応答だったのでしょうか？ぜひ感想をお伝えください。

<タイトル文字> 齋藤絵美理

<議会だより編集委員会> 河本明代・田代久夫・伊波ゆかり・松澤武裕・宮崎純平